

2学期・教室の風景



新たな生徒が加わるようになり、教室にいっそう活気があふれてきました。ただ、これまで教室で学習の基礎を身につけてきた生徒とは理解度に差があり、個別支援が必要です。そこであらたに数学、国語の支援者をむかえることになりました。これで小中学校の教職経験者が揃い、小中を見通した支援ができるようになりました。キャリア形成を考えていく上で、プロチーニョ教室もワンステップUPです。

子どもたちの活躍

子どもたちの想いを大切に
応援しています。

劇に出演



日本語能力試験合格！



自ら目標を決めてトライする子も現れました。

12月20日：運営委員会

第四回運営委員会は、プロチーニョ教室のしくみをいかに一般化するか、ということが大きな議題でした。他地域の多文化共生への取り組みも参考にしながら、わたしたちの試行錯誤がもととなり、鈴鹿モデルとして形作られてきています。